461.

GE社製Advantexを用いた IVR-Shotの検討 Evaluation of IVR-Shot using Advantex

昭和大学病院 中央放射線部

○加藤 京一 秋山 真之 伊藤 美香 西沢 剛 新田 勝 中澤 靖夫
(K. Kato) (M. Akiyama) (M. Ito) (T. Nishizawa) (M. Nitta) (Y. Nakazawa)
GE横河メディカルシステム㈱ 鈴木 敦 入内島 誠
(A. Suzuki) (M. Iriuchijima)

【目的】近年の狭心症・心臓病の増加に伴い、冠動脈造影検査の重要性が増している。従来の冠動脈造影検査は、X線を用いて撮影するが、造影剤の注入による血管の拡張が不完全な場合がある。本報告では、Advantexを用いたIVR-Shot撮影法について検討する。

【方法】1. 対象：冠動脈疾患の患者。2. 装置：Advantex（GE社製）。3. 撮影法：IVR-Shot（IVR：Intravascular Radiography）。4. 評価：造影剤の注入量、血管の拡張率、撮影時間など。

【結果】IVR-Shot撮影法は、従来の冠動脈造影検査と比較して、造影剤の注入量が減少し、血管の拡張率が向上した。また、撮影時間も短縮された。

【結論】IVR-Shot撮影法は、冠動脈疾患の診断に有用な検査法であると考えられる。

【結果】IVR-Shot撮影法は、従来の冠動脈造影検査と比較して、造影剤の注入量が減少し、血管の拡張率が向上した。また、撮影時間も短縮された。

【結論】IVR-Shot撮影法は、冠動脈疾患の診断に有用な検査法であると考えられる。

【参考文献】
1) 現代医療. 1995; 13-32.
2) 長谷川光男, 天之内廣, 中澤靖夫. 心臓血管造影検査マニュアル. 1994.

F 1

F 2

F 3